

障害福祉関係ニュース

(障害福祉制度・施策関連情報) 2020(令和2)年度
11号(通算387号)
(令和3年3月3日発行)

本ニュースは、全社協 高年・障害福祉部に事務局をおく、セルフ協・身障協・厚生協・全救協・障連協の協議員・役員・構成団体、ならびに都道府県・指定都市社協に電子メールにてお送りしています。

[発行] 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル内
TEL:03-3581-6502 FAX:03-3581-2428
E-MAIL:z-shogai@shakyo.or.jp

◆◆◆ 今号の掲載内容 ◆◆◆

- I. 障害福祉制度・施策関連情報
1. 【厚労省】社会保障審議会 障害者部会（第105回）が開催される
～令和3年度 障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容について協議～ 1
 2. 【厚労省】令和3年度以降における福祉・介護職員処遇改善加算等の特例的取扱いについて 2
 3. 【厚労省】「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」第1～3WGが開催される 3
 4. 【厚労省】障害者支援施設等入所者等及び従事者への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について 3
 5. 【厚労省】救護施設、更生施設、授産施設、宿所提供施設の設備および運営に関する基準および省令の一部改正へのパブリックコメントについて 4
- II. その他の関連情報
1. 【身障協】第33回経営セミナー（オンデマンド配信）のご案内 4
 2. 【全社協・中央福祉学院】令和3年度 社会福祉士通信課程 短期養成コース（オンライン開催）受講者募集のご案内 5
 3. 【全社協・中央福祉学院】（3月31日まで延長！）令和3年度 第45期福祉施設長専門講座（オンライン開催）受講者募集のご案内 6
 4. 【NHK厚生文化事業団】渋谷発オンラインフォーラム「超高齢社会を生きる～コロナ禍に考えるフレイルと長寿の生き方・備え方～」のご案内 7

I. 障害福祉制度・施策関連情報

1. 【厚労省】社会保障審議会 障害者部会（第105回）が開催される～令和3年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容について協議～

2月26日に第105回社会保障審議会障害者部会（部会長：菊池 馨実早稲田大学法学学術

院教授)が開催されました。

今回は、厚生労働省より、第24回障害福祉サービス等報酬改定検討チームで承認された令和3年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容について報告が行われ、その後、意見交換が行われました。また、マイナンバーを活用した情報連携の拡大等について、ならびに新型コロナウイルス感染症に係るメンタルヘルスに関する調査の結果概要についても報告が行われました。

※当日の資料等は、下記厚生労働省ホームページをご確認ください。

【厚労省 HP】 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000195428_00026.html

※新型コロナウイルス感染症に係るメンタルヘルスに関する調査の結果については、下記厚生労働省ホームページでも詳細が公表されていますので、ご参照ください。

【厚労省 HP】 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15766.html

2. 【厚労省】令和3年度以降における福祉・介護職員処遇改善加算等の特例的取扱いについて

厚生労働省は、事務連絡「令和3年度以降における福祉・介護職員処遇改善加算等の取扱いについて」(2月12日付)において、「加算率の算定方法の見直しに伴い、短期入所及び障害者支援施設が行う日中活動系サービスに係る例外的取扱いは終了する(サービスごとの加算率が適用される。)」ことを示しました。しかし、その後、処遇改善にかかる影響を懸念する声が高まったことから、事務連絡「令和3年度以降における福祉・介護職員処遇改善加算等の取扱いについて(vol.2)」(3月2日付)を发出し、特例的取扱いについて、加算率を見直したうえで、継続することとしました。

本件については、2月4日の障害福祉サービス等報酬改定検討チームのとりまとめでは明示されておらず、身障協や経営協などが、厚生労働省への要望等の活動を行いました。第105回社会保障審議会・障害者部会(2月26日開催)でも、構成員から特例終了に反対する意見が出されていました。

これにより、障害者支援施設が行うサービスの処遇改善加算等の加算率は下記のように改定されることとなります。

<障害者支援施設が行う日中活動系サービスにおける福祉・介護職員処遇改善加算(I)の加算率>

	現 行 (障害者支援施設が行う 日中活動系サービス)	令和3年度改定後 (障害者支援施設が行 う日中活動系サービス)	(参 考) 令和3年度改定後の サービス別の加算率
生活介護	6.9%	6.1%	4.4%
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	6.9%	6.8%	6.7%
就労移行支援	6.9%	6.7%	6.4%
就労継続支援A型	6.9%	6.5%	5.7%
就労継続支援B型	6.9%	6.4%	5.4%

<障害者支援施設が行う日中活動系サービスにおける福祉・介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)の加算率>

	現 行 (障害者支援施設が行う 日中活動系サービス)	令和3年度改定後 (障害者支援施設が行 う日中活動系サービス)	(参 考) 令和3年度改定後の サービス別の加算率
生活介護	1.9%	1.7%	1.4%
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	1.9%	2.6%	4.0%
就労移行支援	1.9%	1.8%	1.7%
就労継続支援A型	1.9%	1.8%	1.7%
就労継続支援B型	1.9%	1.8%	1.7%

3. 【厚労省】「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」第1～3WGが開催される

「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」(部会長：駒村 康平慶應義塾大学教授)において設置された3つのワーキンググループ(WG)が12月より開始され、2月までに各3回開催されました。

(第1WG) 障害者の就労能力等の評価の在り方について (12月21日、1月29日、2月18日開催)
(第2WG) 障害者就労を支える人材の育成・確保について (12月22日、1月21日、2月18日開催)
(第3WG) 障害者の就労支援体系の在り方について (12月25日、2月9日、2月25日開催)

各WGでは、令和2年度内に協議を進め、その後検討会に議論を戻し、令和3年6月頃を目途に報告書を取りまとめる予定となっています。

※検討会およびワーキンググループの資料等は、下記厚労省ホームページをご確認ください。

- ① 障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14599.html
- ② (第1WG) 障害者の就労能力等の評価の在り方について
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-rousei_126985_00006.html
- ③ (第2WG) 障害者就労を支える人材の育成・確保について
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-rousei_126985_00007.html
- ④ (第3WG) 障害者の就労支援体系の在り方について
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15534.html

4. 【厚労省】障害者支援施設等入所者等及び従事者への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について

厚生労働省より事務連絡「障害者支援施設等入所者等及び従事者への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について」(2月19日付)、「障害者支援施設等入所者等及び従事者へ

の新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に係るQ&A」(2月19日付)が発出されました。

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種については、医療従事者等への接種の次に高齢者、次いで基礎疾患を有する者及び高齢者施設等に従事する者に対し行うこととされています。高齢者施設等には、高齢者である障害者が入所・入居する障害者支援施設等も含まれ、本通知では、これらの準備に向けた基本的な考え方等が示されています。

※通知詳細につきましては、下記全社協ホームページをご確認ください。

「障害者支援施設等入所者等及び従事者への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について」

<https://www.shakyo.or.jp/coronavirus/af210107/shougai/0219vaccine.pdf>

「障害者支援施設等入所者等及び従事者への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に係るQ&A」

<https://www.shakyo.or.jp/coronavirus/af210107/shougai/0219vaccineQ%EF%BC%86A.pdf>

5. 【厚労省】救護施設、更生施設、授産施設、宿所提供施設の設備および運営に関する基準および省令の一部改正へのパブリックコメントについて

厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症対策に関して、感染症等発生時の事業継続計画の策定、感染症の発生およびまん延の予防等に関する取り組みの徹底等について、省令改正を予定しており、本件に関するパブリックコメントを2月5日から開始されています(終了日3月6日)。

本省令改正の公布は、本年3月中を予定し、施行は8月を予定(経過措置あり)されています。

※一部改正の概要ならびにパブリックコメントについては、下記サイトをご確認ください。

【e-GOV パブリックコメント】

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495200437&Mode=0>

II. その他の関連情報

1. 【身障協】第33回経営セミナー(オンデマンド配信)のご案内

全国身体障害者施設協議会(身障協)では、標記研修会を3月15日より配信いたします。当初、令和3年3月4日～5日の2日間での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、オンデマンド配信(録画配信)による実施とし、プログラム内容についても令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の動向に焦点を当てた内容としています。会員外の方も参加可能ですので、ぜひ多くの障害者支援施設の経営者の方々にお申込みいただき、これから求められる視点や進むべき方向性のヒントを掴んでいただければと思います。

なお、今年度の申込方法は例年と異なります。下記ページよりお申し込みください。

【身障協 HP】 <https://form.qooker.jp/Q/ja/skeiei33/entry/>

第 33 回経営セミナー

- ◆ 期日 : 令和3年3月15日(月)～29日(月)
- ◆ 開催方法 : オンデマンド配信(録画配信)
- ◆ プログラム : (都合により変更が生じる場合があります)

時間	プログラム
(40分)	基調報告 「身障協に求められる取り組みと役割」 全国身体障害者施設協議会 会長 日野 博愛
(45分)	行政説明 「令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の動向」 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課長 竹内 尚也氏
(60分)	対談 「令和3年度障害福祉サービス等報酬改定への対応を考える」 今回の報酬改定について、それぞれの視点で振り返りながら、本会会員施設が報酬改定にどう対応していくかを考えます。 《対談者》 全国身体障害者施設協議会 制度・予算対策委員会委員長 三浦 貴子 障害福祉サービス等報酬改定検討チーム アドバイザー 平野 方紹 氏

- ◆ 定員、対象 : 300施設・事業所
- ◆ 参加費 : 1施設・事業所あたり 会員5,000円 / 非会員8,000円
- ◆ 申込期限 : 令和3年3月10日(水)

2. 【全社協・中央福祉学院】令和3年度 社会福祉士通信課程 短期養成コース (オンライン開催) 受講者募集のご案内

全社協・中央福祉学院では、令和3年度社会福祉士通信課程短期養成コースの受講者を募集しております。

今年度については、新型コロナウイルス感染防止ための特例的な対応として、命を預かる職務にある受講者に安心して受講いただけるよう、すべてのスクーリングをZoomと動画配信で実施することになりました。オンラインのみでスクーリングを受講できる貴重な機会です。ソーシャルワークの実践力を磨き、国家資格「社会福祉士」を目指すため、ご受講をご検討ください。

詳細につきましては、下記概要をご参照ください。

【全社協・中央福祉学院 HP】 <http://www.gakuin.gr.jp/training/course291.html>

令和3年度 社会福祉士通信課程 短期養成コース

◆ 社会福祉士への高まる期待

現在、わが国では、地域共生社会の実現に向け、ソーシャルワークの専門職として総合的な実践能力を有する社会福祉士への期待が高まり、その活躍の場は、医療・教育・司法といった領域にまで広がりつつあります。

◆ **本課程の特色**

- (1) 全国の短期養成校のなかで最多の合格者数
第32回国家試験(令和元年度)新卒合格者数第1位(162名)
(全国16校の社会福祉士短期養成校の中で第1位)
- (2) 働きながら学びやすい環境
スクーリング日程はすべて土日開催(複数コースから選択可)
- (3) 充実した独自の試験対策プログラム
自己学習用メール配信、試験対策講座や全国統一模擬試験等を実施、独自の試験対策資料を発行し、国家試験に向けて強力にサポート
- (4) 経済的負担を軽減
所定の手続きを行い、規定の要件を満たすと最大70%の学費が還元(厚生労働省・専門実践教育訓練給付制度指定講座)
- (5) 熟練の講師陣の充実した指導
全国を舞台に活躍している熟練した講師陣による、ソーシャルワーカーとしての力量を高める指導内容

◆ **本課程の概要**

- ・修業期間：令和3年4月16日～令和4年1月15日(9か月間)
- ・費用：授業料188,400円(テキスト代含む、実習費別途)
選考料5,100円(推薦申込の場合は不要)
- ・受講資格・選考方法・申込方法・申込方法：
入学案内(中央福祉学院ホームページに掲載)をご覧ください。
※定員に達した会場は締め切る場合もあります。

◆ **本課程の入学要件**

中央福祉学院等の社会福祉主事養成機関を修了後*、指定施設における相談援助業務に2年以上従事した方等です。

注* いわゆる「3科目主事」や「社会福祉主事講習会」は含まれません。

詳細、入学案内・申込書(PDF)は、中央福祉学院ホームページをご確認ください。

◆ **新型コロナウイルス感染対策と受講者の通信環境整備について**

スクーリングではインターネットを使用した映像受講やZOOMによる対面式の相談援助演習を実施することになっています。

受講をご検討される方々には、パソコン等の機器や通信量を気にせず使用できる通信環境の整備を4月までにお済ませください。

3.【全社協・中央福祉学院】(3月31日まで延長!)令和3年度 第45期福祉施設長 専門講座(オンライン開催)受講者募集のご案内

中央福祉学院では第45期福祉施設長専門講座の受講申込みを3月31日まで延長して受付

いたします。本研修は施設長クラスの方々の、「福祉施設経営に必要な実践力を身につけたい」、「利用者、地域、職員にとってよりよい施設運営をしていきたい」、「地域において自法人・施設に求められる役割を果たしていきたい」といった思いに1年間のレポート・スクーリングを通して、熟練の講師陣と中央福祉学院が全力でお応えいたします。

本講座は、現在施設長の方のスキルアップのみならず、将来的に施設長等の役職への就任を予定している職員のスキルアップの場としても多く活用されており、受講者からは「施設長としての自信がついた」、「特別講義を聴いて涙が出た」、「大変ではあったが、達成感があり、自己を高めるとてもいい機会となった」、「さらに学び続けることの必要を実感した」といった声を多くいただいています。

詳細につきましては、下記概要をご参照ください。

【全社協・中央福祉学院 HP】 <http://www.gakuin.gr.jp/training/course303.html>

令和3年度 第45期福祉施設長専門講座

◆ **受講期間**：令和3年4月1日～令和4年3月31日

(通信課程でのレポート及び下記2回のスクーリングへの参加)

※下記日程でスクーリング(中央福祉学院での講義・演習)を開催予定です。

なお、第1回のスクーリングは新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、オンライン開催となります。そのためZOOM等を使用できる通信環境をご用意ください。第2回につきましては、現在のところ通常とおり、中央福祉学院(会場)にて実施予定です。

第1回：令和3年7月9日(金)～7月12日(月)

第2回：令和4年2月10日(木)～2月13日(日)

◆ **定員**：200名

◆ **費用**：209,500円(消費税込)

◆ **申込期限**：令和3年3月31日(水) 《当日消印有効》【←延長しました!】

4. 【NHK厚生文化事業団】渋谷発オンラインフォーラム「超高齢社会を生きる～コロナ禍に考えるフレイルと長寿の生き方・備え方～」のご案内

NHK厚生文化事業団とNHKエンタープライズは、渋谷発オンラインフォーラム「超高齢社会を生きる～コロナ禍に考えるフレイルと長寿の生き方・備え方～」を3月14日にライブ配信にて開催いたします。

超高齢社会の中、多くの人が迎える高齢期をどう過ごすのか、具体的なマニュアルや指針はありません。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大がこの課題により重くのしかかっています。

本フォーラムでは、超高齢社会の生き方と備え方をフレイルなどの老年医学の分野をはじめ、社会学の立場から考える機会となっております。

詳細につきましては、下記概要をご参照ください。

【NHK厚生文化事業団 HP】 <https://npwo.or.jp/info/18277>

超高齢社会を生きる ～コロナ禍に考えるフレイルと長寿の生き方・備え方～

- ◆ 日時 : 3月14日(日) 午後1時30分～午後3時50分(予定)
- ◆ 開催方法 : インターネットでのライブ配信
- ◆ プログラム : 第1部
対談「コロナ禍の超高齢社会～広がる格差・深まる孤立～」
春日 キスヨ(家族社会学者) × 町永 俊雄(福祉ジャーナリスト)
- 第2部
・フレイルを知って備える ～医療から見た老いとその治療～
・社会的孤立をどう防ぐか ～農福連携の取り組みから考える～
- ◆ 定員 : 400名
- ◆ 参加費 : 無料(事前申し込みが必要)
- ◆ 問い合わせ先 : NHK厚生文化事業団「オンラインフォーラム超高齢社会を生きる」係
電話 03-5728-6633(平日の午前10時～午後5時)